



ふれあうってやっぱいいね！

～1年生を迎える会、4年ぶりに対面で行いました。～

5月11日に、体育館に全校児童が集まって、1年生を迎える会を行いました。ほぼ何の制限もなしに実施するのは、4年ぶりになります。

「1年生を喜ばせてあげよう。」「1年生に南山形小のよいところを知ってもらおう。」をめあてに、6年生の実行委員を中心に企画・運営し、2～6年生全員で準備を進めてきました。

1年生は、6年生からプレゼントされたメダルをつけて、6年生に手を引かれて入場。久しぶりの光景に、とっても微笑ましさを感じました。会では、6年生が学校の様子を寸劇にして楽しく紹介したり、各学年が自分たちの学年のことを紹介したりしました。また、学校クイズでは、

「今年何周年か?」「学校のシンボルは?」など、1年生に学校のことをよく知ってもらおうと、南山形小の特徴がよくわかる問題が出されました。思ったより答えられる1年生もいてびっくりしましたが、1年生はクイズや学校紹介を通して、もっと学校のことがわかるようになったことと思います。

1年生からは、校歌と踊りのお返しがありませんでした。校歌はもうすっかり覚えていて、大きな声で元気に歌いました。踊りもとてもかわいらしかったです。

会を通して、子ども達は、優しさや温かさ、信頼関係、安心感、憧れ、思いやり、リーダーシップ等、数字では計れないものをたくさん学びました。全員が同じ空間にいて、終始笑顔で楽しい時間を共有している姿を見ると、とりわけ小学校段階の子ども達にとって、こういった関わり合いは大切にしたいものだ、と改めて思いました。みんなの心がちょっと成長した、とても温かい時間になりました。



コロナウイルス感染症5類に！

コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、学校生活もだいぶコロナ前に戻ってきています。

平時においては、換気や手洗いといった日常的な対応は続けるものの、特段の対策は講じる必要がなくなりました。これにより、これまでできなかった様々な学習活動が再開されています。朝の会で元気よく歌ったり、調理実習や理科の実験に班の友達と協力して取り組んだり等、子ども達が何も気にすることなく活動している様子を見ると、とても嬉しく思います。暑くなってくるにつれ、低学年を中心にマスクを外す子どもも増えてきており、心なしか朝のあいさつも元気になってきました。表情がきちんと見えるということも、人との関係作りにはとても大切なことなのでしょうね。あたり前のことがあたり前にできることの幸せを、改めて感じています。

5類に移行したとは言え、コロナがなくなったわけではありません。また、5月なのに、市内でインフルエンザによる学級閉鎖の措置を執った学校もあります。このような状況を考えると、お子さんの毎朝の健康観察は、引き続きお願いしなければならないかと思います。また、社会科見学や修学旅行での見学先、混雑したバスや電車の利用時等、マスクの着用が推奨されることもありますので、ポケット等に常に清潔なマスクを持たせてくださいますよう、よろしくお願いいたします。

笑顔、元気いっぱい ～4・5月の学習活動から～



ミニコンサート(4/30) 東北
文教大宮下先生をお招きして



JRC登録式(5/10) ボランティア委員会の
説明の後、1年生にワッペンを渡しました。



6年陸上教室(5/10) 山大陸上部の先生と部員
を講師に、走る運動の基礎を学びました。



3・4年交通教室
(5/11) 3年生
はグラウンド模擬
コース、4年生は
路上で実技講習